



## 芦屋市議会核兵器禁止条約意見書を採択

◇芦屋市議会は9月24日の本会議で、核兵器禁止条約に署名・批准を求める国への意見書が採択されました。意見書は、「日本政府は、今こそ地球上の核兵器廃絶に向け、政府間の調整役など国際社会から期待される主導的役割を果たすべきです」と強調。一刻も早い廃絶を願って「非核平和都市宣言」を決議した芦屋市議会として、政府と国会に核兵器禁止条約に署名・批准するよう強く要請しています。芦屋市原爆被害者の会が請願したもので賛成12、反対8で可決。自民党、公明党が反対しました。兵庫県での同様の意見書は高砂市、川西市、播磨町に次ぐものです。

### ヒバクシャ国際署名 兵庫県保険医協会

## 10,000枚の署名用紙を取り寄せ 明石原水協は8,000枚

◎署名に賛同した首長の顔写真入り署名用紙は3万枚作成してほとんどなくなる状況。明石原水協が8,100枚を注文。東播建設労組が保険証交換の際に活用すると3000枚注文。新婦人750枚、年金者組合600枚、明石民商750枚の規模で届け、赤旗折込み約2,000枚もします。10月27日、明石城で行われる恒例菊花展でも観覧客に訴える計画です。その他、西宮市=3,100枚、芦屋市=1,000枚、北区=1,000枚、三木市=1,000枚、灘区=1,000枚、共産党県委=1,000枚、同丹波地区委員会=1,000枚、神戸市職民生支部=1,400枚などの注文が。兵庫県保険医協会から10,000枚の注文がありましたが在庫がほとんどなく、新たに発注して対処。兵庫県原水協にも在庫がなくなったので、日本原水協作成の署名用紙（ちひろさんの絵が印刷されているもの）を10,000枚取り寄せました。みんな、署名用紙をあらゆる団体に届けよう！



### 国連共同行動(9.20、9.26)で青年らが訴え

☆9月20日（核兵器禁止条約調印開始2周年）26日（国連核兵器廃絶デー）の両日、兵庫労連の宣伝車を繰り出し「ヒバクシャ国際署名」を訴えました。20日は18人、26日は10人が参加しました。

☆20日は、今年の世界大会に参加した大学生が、被爆者から聞いた話が自分を変えた、と被爆者との出会いを感動的に語り、署名を呼びかけました。新婦人の垣本平和部長、兵庫労連の成山議長などの訴えに54筆

の署名が寄せられました。

### 黒田・川西市議が「折り鶴」を熱唱

☆26日は、川西市の黒田みち市議が飛び入り参加。川西市で市長や議長などが署名に賛同し、市議会でも国への意見書が採択されたことを報告し、「折り鶴」の歌を宣伝車上から熱唱(写真右)、署名への協力を呼びかけました。



### 禁止条約調印が79、批准が32に

◎9月26日に国連本部で開かれた署名・批准式で、新たにバン グラデシュ、キリバス、ラオス、モルディブ、トリニダード・トバゴの5か国が批准書を国連事務総長に寄託して32か国となり、発効に必要な国数の3分の2となりました。核兵器禁止条約は、50か国目の批准書が国連事務総長に寄託されてから90日後に発効します。核兵器禁止条約に署名した国は、79か国に増えました。

